

-----2月1日-----

2021年

## ※ 今週のアウトルック (2/1~2/5)

先週はFOMCの景気回復への悲観的な認識から、逃避先として米ドルが選択された形となり週末には105円近くまで米ドルが上昇しました。

今週は、円安、ドル高、クロス円高の状況がどのあたりまで続くのか、週末の米国雇用統計がどのように影響するかが、まずは注目されそうです。

先週のドル円は、金曜日に104.5円付近のレジスタンスをブレイクして105円付近まで到達して104円台後半でNY市場を終了しています。

今週は、このまま105円台に到達できるのかがまずは注目されそうですが、105円台を安定的に維持するにはもう少し時間がかかるかもしれません。

ドル円の予想レンジは104円から105.6円です。

先週のユーロ円は、金曜日の円安の流れから127.5円付近まで到達しています。

今週は、この勢いを維持したまま、127.5円付近のレジスタンスブレイクに成功するのかが、まずは注目されますが、今週ブレイクできる可能性は五分五分と考えています。

ユーロ円の予想レンジは124.5円から128円です。

ポンド円も円安の流れを受けて、144円付近まで到達しています。

テクニカル的には上昇トレンドを示唆するものが多くなり、このまま145円付近まで到達する可能性が強まっています。

ポンド円の予想レンジは140円から145円です。

コロナ後を見据えた早期の景気回復期待が、やや後退しており、NYダウなどは下落を示唆するような動きとなっています。

このまま、逃避先として米ドルが選択され上昇が続くのか、米国雇用統計の結果によりどのような動きとなるのか、難しい状況となりそうです。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。